

# 2022年3月期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）	P.2
2. 業績のポイント	P.3
3. 業績の状況	P.4
4. 主要製品の状況	P.5
5. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）	P.6
6. 開発品一覧	P.7～8
【参考資料】	
7. 2023年3月期 連結業績予想（連結）	P.9
8. 損益計算書の概要（連結）	P.10～11
9. 貸借対照表の概要（連結）	P.12
10. 主な業績項目の推移（連結）	P.13
11. 杏林製薬資料	P.14～17

2022年5月11日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社



## ■ 将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社グループに関する業績見通しや目標・計画等、将来に関する事項が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点において入手可能な情報や予測に基づく、当社グループの仮定や見通し等の判断によるものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。したがって、その後発生した種々の要因により、実際の業績や開発品の進捗・成否、その他の見通し等が記述内容と大きく異なる可能性があります。また医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その記述は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

# 2022年3月期 決算概観（連結）

(単位：百万円)	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	対前期 (%)	23年3月期 (予想)	対前期 (%)
売上高	113,620	109,983	102,904	<b>105,534</b>	n/a	<b>112,000</b>	+6.1
営業利益	8,972	7,503	5,786	<b>5,007</b>	-13.5	<b>5,500</b>	+9.8
経常利益	9,438	8,175	6,447	<b>5,569</b>	-13.6	<b>6,000</b>	+7.7
親会社株主に帰属する当期純利益	6,869	6,149	6,130	<b>3,932</b>	-35.9	<b>4,500</b>	+14.4
1株当たりの当期純利益（円）	104.68円	107.35円	106.99円	<b>68.62円</b>	-35.9	<b>78.53円</b>	+14.4
総資産	173,034	171,160	167,126	<b>171,924</b>	+2.9	—	—
純資産	123,395	122,710	124,661	<b>124,507</b>	-0.1	—	—

## 22年3月期 連結業績（実績）

薬価改定及び新型コロナウイルス感染症の影響等により、当社グループが重点領域とする呼吸器・耳鼻科等の市場がマイナス成長となる中、効率的な普及促進活動により、売上高・利益とも、2021年5月11日に発表した通期業績予想を達成しました。

**【売上高】**「デザレックス」「ヘオーバ」等の新薬群が伸長するとともに、一部後発医薬品企業の製品供給不安の影響により長期収載品の売り上げが増加しました。他方、導出品の売り上げ及び導出品に関わる一時金が減少し、新医薬品等（国内）は前期に対し横ばいとなりました。後発医薬品の売り上げは増加し、全体の売上高は1,055億34百万円となりました。

**【利益】** 売り上げは増加しましたが、売上原価率が上昇したことにより売上総利益は494億41百万円（前期516億27百万円）と前期に対して減少しました。他方、販売費及び一般管理費（研究開発費含む）は、慢性咳嗽治療薬の導入に関わる契約一時金を計上したものの、コスト削減等により、444億33百万円（前期458億41百万円）と前期に対して減少しました。その結果、営業利益は50億07百万円、経常利益は55億69百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は39億32百万円となりました。

※2022年4月26日 通期業績予想の修正を発表済み

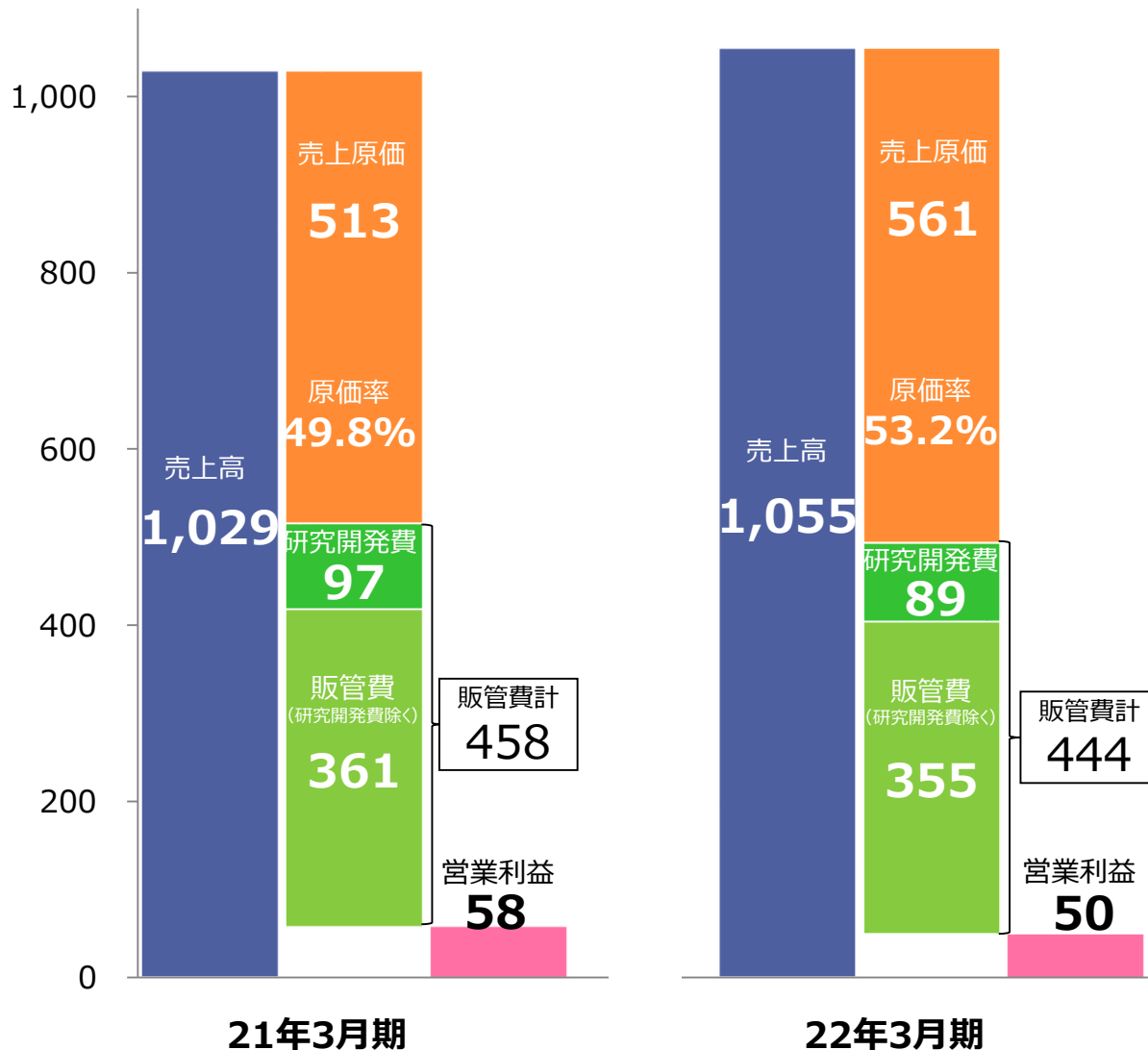
## 23年3月期 連結業績（予想）

売上高は、新医薬品等（国内）については、薬価改定の影響はあるものの、主力製品である「ヘオーバ」の限定出荷（出荷調整）の解除、「リフヌア」の新発売等により、売上増加が予想されます。また後発医薬品についても、売上増加が予想されます。利益面では、増収により売上総利益の増加が予想される一方、研究開発費の増加により販売費及び一般管理費の増加が予想されます。これらにより、売上高1,120億円（前期比6.1%増）、営業利益55億円（前期比9.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は45億円（前期比14.4%増）を見込みます。

※ 当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しており、比較対象となる前連結会計年度の収益認識基準が異なることから前連結会計年度と比較しての増減額及び前期比（%）は記載しておりません。なお営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益への影響はありません。

# 2022年3月期 業績のポイント

(単位：億円)



## 【ポイント】

### 売上高は増加

#### 売上原価率が上昇

【低下要因】

- 新薬群の売上拡大

【上昇要因】

- 薬価改定の影響（杏林製薬6%台）
- 後発医薬品の売上増加

### 売上総利益は減少

#### 販管費は減少

- 研究開発費は減少  
前年度、AKP-009導入に関わる契約一時金を計上
- 販管費（研究開発費除く）は減少  
リフミア錠45mg導入に関わる契約一時金を計上  
コスト削減、収益認識に関する会計基準等を適用

### 営業利益は減少

# 2022年3月期 業績の状況

(単位：億円)	21年3月期	22年3月期	対前期 (額)
売上高	1,029	1,055	n/a
新医薬品等(国内)	697	697	n/a
新医薬品(海外)	10	10	n/a
後発医薬品	322	348	n/a
営業利益	58	50	-8
経常利益	64	56	-8
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	39	-22

※「収益認識に関する会計基準」等の適用による影響額は売上高が966百万円減少し、販売費及び一般管理費が966百万円減少しましたが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益への影響はありません。

	(対前年)	(対予想) 2021年5月11日発表
■ 売上高	1,055億円	(n/a) (+29)
● 新医薬品等 (国内)	697億円	(n/a) (+11)
	21.3	22.3
・フルティフォーム	133 ⇒ 126	(-7) (-13)
・デザレックス	57 ⇒ 71	(+14) (-1)
・ペオーバ	73 ⇒ 86	(+13) (0)
・ラスビック	9 ⇒ 18	(+9) (-10)
・ペンタサ	128 ⇒ 140	(+12) (+23)
・キプレス	83 ⇒ 84	(+1) (+15)
・ムコダイン	33 ⇒ 35	(+2) (+6)
・ナゾネックス	28 ⇒ 24	(-4) (+6)
・ウリトス	23 ⇒ 13	(-10) (+3)
● 新医薬品 (海外)	10億円	(n/a) (+2)
	ラスクフロキサシンの海外導出 (中国企業) による一時金収入	
● 後発医薬品	348億円	(n/a) (+17)
	オーソライズド・ジェネリックであるモンテルカスト錠「KM」等の売上が増加、2021年度追補収載品の売上が寄与	
■ 営業利益	50億円	(-8) (+17)
● 原価率：53.2% (前年同期：49.8%)	【低下要因】新薬群の売上拡大 【上昇要因】薬価改定、後発医薬品の売上増加	
● 研究開発費：89億円 (前年同期：97億円)	前年度、AKP-009導入に関わる契約一時金を計上	
● 販管費(研究開発費除く)：355億円 (前年同期：361億円)	販売費及び人件費の減少、特許等使用料の増加 (リフミア錠45mg導入に関わる契約一時金)	
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	39億円	(-22) (+12)

# 2022年3月期 主要製品の状況

(単位：億円)		18年3月期 (実績)	19年3月期 (実績)	20年3月期 (実績)	21年3月期 (実績)	22年3月期 (実績)	対前期 (額)	対前期 (%)	23年3月期 (予想)
新医薬品等 (国内)	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	119	131	146	133	126	-7	-5.5	120
	デザレックス (アレルギー-性疾患治療薬)	49	37	26	57	71	+14	+24.0	80
	ベオーバ (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	-	7	43	73	86	+13	+17.8	141
	ラスビック (ニューキノロン系抗菌剤)	-	-	11	9	18	+9	+111.3	30
	リフヌア (選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬)	-	-	-	-	-	-	-	5
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	153	135	133	128	140	+12	+9.4	125
	キプレス (気管支喘息・アレルギー-性鼻炎治療剤)	188	139	118	83	84	+1	+1.4	68
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	87	68	58	33	35	+2	+5.6	29
	ナゾネックス (定量噴霧式アレルギー-性鼻炎治療剤)	-	128	60	28	24	-4	-14.2	18
	ウリトス (自社販売分) (過活動膀胱治療剤)	72	66	58	23	13	-10	-44.7	7
	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	22	22	24	21	21	0	-3.9	20
ルピスタ (環境除菌・洗浄剤)	11	13	15	20	21	+1	+2.5	20	
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 (気管支喘息・アレルギー-性鼻炎治療剤)	117	119	115	108	122	+14	+12.7	107
	モメタゾン点鼻液「杏林」 (定量噴霧式アレルギー-性鼻炎治療剤)	-	-	28	38	36	-2	-5.3	36
	イミダフェナシン錠「杏林」 (過活動膀胱治療剤)	-	-	-	7	8	+1	+3.1	5

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況（連結）



(単位：百万円)	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	対前年 (%)	23年3月期 (予想)
研究開発費	14,243	10,790	10,987	9,703	<b>8,897</b>	-8.3	<b>10,900</b>
設備投資	2,885	2,306	3,590	4,307	<b>3,624</b>	-15.9	<b>5,000</b>
減価償却費	3,644	2,940	3,221	3,564	<b>3,714</b>	+4.2	<b>4,000</b>

## 設備投資の詳細（実績／予想）

(単位：億円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期 (予想)
工場設備	31	<b>26</b>	39
管理・販売設備	3	<b>4</b>	6
研究用設備	9	<b>6</b>	5

# 開発品一覧① (2022年5月11日現在)

## Ph III ~ 発売

※前回 (2022年2月4日) からの変更点

開発段階		製品名/ 開発コード	適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
発売※ (22年4月)	—	リフヌア錠45mg/(一般名: ゲーファピキサントクエン酸塩)	難治性の慢性咳嗽	メルク	選択的P2X3受容体拮抗薬	21年4月 MSDより日本国内での 独占販売権を取得

## POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph I (20年7月)	Ph I b/ II a (aTyr:米国)	<b>KRP-R120</b>	間質性肺疾患 (肺サルコイドーシス)	aTyr (エイタイヤー)	融合タンパク製剤であり、Neuropilin-2 受容体(NRP2)に結合することで過剰な免疫細胞の活性化を抑制する作用を有し、ファースト・イン・クラスの治療薬として肺サルコイドーシス等の炎症疾患への効果が期待される	
	Ph I (21年4月:英国)	<b>KRP-A218</b>	重症化リスクを有する ライノウイルス感染症	自社	宿主分子を標的とし、体内におけるウイルス増殖を抑制する抗ウイルス薬	



# 開発品一覧② (2022年5月11日現在)

## 導入品の状況

※前回 (2022年2月4日) からの変更点

開発段階		開発コード	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph II (19年12月) あすか製薬	—	<b>AKP-009</b>	前立腺肥大症	あすか製薬	新規アンドロゲン受容体モジュレーター作用を有し、前立腺縮小作用に加えて排尿機能改善作用を併せ持つ、新しい前立腺肥大症治療薬として期待される	日本国内における共同開発及び販売等に関する契約を締結 (20年9月)

※高用量での追加Ph I 試験 (終了)

## 導出品の状況

開発段階	製品名/ 開発コード	導出先	予定適応症	起 源	特 徴	備 考
Ph I	<b>KRP-203</b>	Priothera (プリオセラ)	—	自社	S1P受容体アゴニスト	本剤の開発・販売等に要する特許・データ等の知的財産及び原薬等を譲渡 (20年9月)

FPR2作動薬プログラムは、導出先のBMSが開発戦略上の視点から開発中止を決定したため、開発品一覧から削除しました

※感音難聴を対象とした新規開発化合物については、導出先のOtonomy社が開発中止を決定したため、開発品一覧から削除しました

## 2023年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)	22年3月期 (実績)	23年3月期 (予想)	対前期 (額)	対前期 (%)
<b>売上高</b>	105,534	<b>112,000</b>	+6,466	+6.1
新医薬品等（国内）	69,725	<b>74,500</b>	+4,775	+6.8
新医薬品（海外）	1,033	<b>700</b>	-333	-32.2
後発医薬品	34,775	<b>36,700</b>	+1,925	+5.5
<b>営業利益</b>	5,007	<b>5,500</b>	+493	+9.8
<b>経常利益</b>	5,569	<b>6,000</b>	+431	+7.7
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	3,932	<b>4,500</b>	+568	+14.4

# 損益計算書の概要（連結）－①

(単位：百万円)	21年3月期		22年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	102,904	100.0%	105,534	100.0%	n/a	n/a
新医薬品等（国内）	69,735	67.8%	69,725	66.1%	n/a	n/a
新医薬品（海外）	996	1.0%	1,033	1.0%	n/a	n/a
後発医薬品	32,172	31.3%	34,775	33.0%	n/a	n/a

## <連結子会社及び持分法適用会社について>

連結子会社5社： 杏林製薬(株)  
Kyorin Europe GmbH  
ActivX Biosciences, Inc.  
キョーリン リメディオ(株)  
キョーリン製薬グループ工場(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

## <当期のポイント>

(対前期)

■売上高 **105,534百万円** (n/a)

●新医薬品等（国内） **69,725百万円** (n/a)

(億円)	21.3	⇒	22.3	
・フルティフォーム	133	⇒	126	( -7)
・デザレックス	57	⇒	71	( +14)
・ベオーバ	73	⇒	86	( +13)
・ラスビック	9	⇒	18	( +9)
・ペンタサ	128	⇒	140	( +12)
・キプレス	83	⇒	84	( +1)
・ムコダイン	33	⇒	35	( +2)
・ナゾネックス	28	⇒	24	( -4)
・ウリトス	23	⇒	13	( -10)

●新医薬品（海外） **1,033百万円** (n/a)

・ラスクフロキサシンの導出（中国企業）による一時金収入

●後発医薬品 **34,775百万円** (n/a)

・AGであるモンテルカスト錠「KM」等の売上が増加  
・2021年度追補収載品の売上が寄与

# 損益計算書の概要 (連結) - ②

(単位：百万円)	21年3月期		22年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	102,904	100.0%	<b>105,534</b>	100.0%	n/a	n/a
<b>売上原価</b>	51,276	49.8%	<b>56,093</b>	53.2%	n/a	n/a
<b>売上総利益</b>	51,627	50.2%	<b>49,441</b>	46.8%	n/a	n/a
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	45,841 (9,703)	44.5% (9.4%)	<b>44,433</b> <b>(8,897)</b>	42.1% (8.4%)	n/a (-8.3%)	n/a (-805)
<b>営業利益</b>	5,786	5.6%	<b>5,007</b>	4.7%	-13.5%	-778
営業外収益	798	0.8%	<b>677</b>	0.6%	-15.2%	-121
営業外費用	137	0.1%	<b>115</b>	0.1%	-15.9%	-21
<b>経常利益</b>	6,447	6.3%	<b>5,569</b>	5.3%	-13.6%	-878
特別利益	1,929	1.9%	<b>0</b>	0.0%	-100.0%	-1,929
特別損失	25	0.0%	<b>352</b>	0.3%	+1301.9%	+327
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	8,352	8.1%	<b>5,216</b>	4.9%	-37.5%	-3,135
法人税・住民税 及び事業税	1,847	1.8%	<b>1,630</b>	1.5%	-11.7%	-216
法人税等調整額	374	0.4%	<b>-346</b>	-0.3%	-	-720
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	6,130	6.0%	<b>3,932</b>	3.7%	-35.9%	-2,198

## <当期のポイント>

(対前期)

◆ **売上原価率：53.2%** ( n/a )

【低下要因】

・ 新薬群の売上拡大

【上昇要因】

・ 薬価改定の影響

・ 後発医薬品の売上増加

◆ **研究開発費率：8.4%** ( n/a )

・ 97億円→89億円

前年度、KRP-009導入に関わる契約一時金を計上

◆ **販管費率（研究開発費除く）：33.7%**

( n/a )

・ 355億円（前期：361億円）

特許等使用料の増加：リフヌア錠45mg導入に関わる契約一時金等  
販売費及び人件費の減少

■ **営業利益** 5,007百万円 ( -778百万円 )

■ **親会社株主に帰属  
する当期純利益** 3,932百万円 ( -2,198百万円 )

■ **配当** 52円00銭/株 (内、中間配当20円/株)  
配当性向76.9%

# 貸借対照表の概要 (連結)

(単位：百万円)	21年3月期末		22年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	114,027	68.2%	<b>116,376</b>	<b>67.7%</b>	<b>+2,349</b>
現金及び預金	27,445		<b>26,994</b>		
受取手形及び売掛金	40,446		<b>41,676</b>		
有価証券	3,399	—	<b>500</b>	—	—
棚卸資産	38,568		<b>42,217</b>		
その他	4,166		<b>4,989</b>		
<b>固定資産</b>	53,099	31.8%	<b>55,547</b>	<b>32.3%</b>	<b>+2,447</b>
有形固定資産	23,896		<b>24,334</b>		
無形固定資産	3,785	—	<b>3,289</b>	—	—
投資その他	25,417		<b>27,923</b>		
<b>資産合計</b>	167,126	100.0%	<b>171,924</b>	<b>100.0%</b>	<b>+4,797</b>
<b>流動負債</b>	27,407	16.4%	<b>32,182</b>	<b>18.7%</b>	<b>+4,774</b>
支払手形及び買掛金	6,985		<b>10,896</b>		
その他流動負債	20,422	—	<b>21,286</b>	—	—
<b>固定負債</b>	15,057	9.0%	<b>15,234</b>	<b>8.9%</b>	<b>+177</b>
<b>負債合計</b>	42,464	25.4%	<b>47,416</b>	<b>27.6%</b>	<b>+4,951</b>
<b>株主資本</b>	120,339	72.0%	<b>120,491</b>	<b>70.1%</b>	<b>+152</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>	4,322	2.6%	<b>4,016</b>	<b>2.3%</b>	<b>-306</b>
その他有価証券評価差額金	6,639		<b>6,268</b>		
為替換算調整勘定	-40	—	<b>110</b>	—	—
退職給付に係る調整累計額	-2,275		<b>-2,362</b>		
<b>純資産合計</b>	124,661	74.6%	<b>124,507</b>	<b>72.4%</b>	<b>-154</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	167,126	100.0%	<b>171,924</b>	<b>100.0%</b>	<b>+4,797</b>

## <当期のポイント>

(対前期末)

### ■流動資産：2,349百万円増

- ・現金及び預金の減少 ( -451百万円)
- ・受取手形及び売掛金の増加 ( +1,229百万円)
- ・有価証券の減少 ( -2,899百万円)
- ・棚卸資産の増加 ( +3,648百万円)
- ・その他の増加 ( +822百万円)

### ■固定資産：2,447百万円増

- ・有形固定資産の増加 ( +437百万円)
- ・無形固定資産の減少 ( -496百万円)
- ・投資その他の増加 ( +2,506百万円)

### ■流動負債：4,774百万円増

- ・支払手形及び買掛金の増加 ( +3,910百万円)
- ・その他流動負債の増加 ( +863百万円)

### ■固定負債：177百万円増

# 主な業績項目の推移 (連結)

(単位：百万円)	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期 (予想)
売上高	110,640	113,620	109,983	102,904	105,534	112,000
(海外売上)	(3,339)	(830)	(1,490)	(996)	(1,033)	(700)
売上原価	49,064	56,210	52,950	51,276	56,093	—
(売上原価率)	(44.3%)	(49.5%)	(48.1%)	(49.8%)	(53.2%)	—
販売費及び一般管理費	52,753	48,436	49,528	45,841	44,433	—
(販管費率)	(47.7%)	(42.6%)	(45.0%)	(44.5%)	(42.1%)	—
うち研究開発費	14,243	10,790	10,987	9,703	8,897	10,900
(研究開発費率)	(12.9%)	(9.5%)	(10.0%)	(9.4%)	(8.4%)	(9.7%)
営業利益	8,822	8,972	7,503	5,786	5,007	5,500
(営業利益率)	(8.0%)	(7.9%)	(6.8%)	(5.6%)	(4.7%)	(4.9%)
経常利益	9,345	9,438	8,175	6,447	5,569	6,000
(経常利益率)	(8.4%)	(8.3%)	(7.4%)	(6.3%)	(5.3%)	(5.4%)
当期純利益	6,574	6,869	6,149	6,130	3,932	4,500
(当期純利益率)	(5.9%)	(6.0%)	(5.6%)	(6.0%)	(3.7%)	(4.0%)
一株当たり利益	89.28円	104.68円	107.35円	106.99円	68.62円	78.53円
資本金	700	700	700	700	700	—
総資産	196,736	173,034	171,160	167,126	171,924	—
株主資本	155,489	116,744	118,534	120,339	120,491	—
純資産	163,297	123,395	122,710	124,661	124,507	—
一株当たり純資産	2,214.13円	2,154.05円	2,142.07円	2,175.52円	2,172.83円	—
自己資本利益率	4.1%	4.8%	5.0%	5.0%	3.2%	—
自己資本比率	83.0%	71.3%	71.7%	74.6%	72.4%	—
人員	2,348人	2,297人	2,271人	2,243人	2,222人	—
設備投資	2,885	2,306	3,590	4,307	3,624	5,000
減価償却費	3,644	2,940	3,221	3,564	3,714	4,000

当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期連結業績は、当該「収益認識に関する会計基準」等を適用した数値となっております。

# 損益計算書の概要：杏林製薬－①

(単位：百万円)	21年3月期		22年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
売上高	89,674	100.0%	<b>92,010</b>	100.0%	n/a	n/a
新医薬品等 (国内)	67,548	75.3%	<b>67,814</b>	73.7%	n/a	n/a
新医薬品 (海外)	793	0.9%	<b>834</b>	0.9%	n/a	n/a
後発医薬品	21,332	23.8%	<b>23,361</b>	25.4%	n/a	n/a

## <当期のポイント>

(対前期)

■売上高 **92,010百万円** (n/a)

●新医薬品等 (国内) **67,814百万円** (n/a)

(億円)

21.3

22.3

・フルティフォーム	133	⇒	126	( -7)
・デザレックス	57	⇒	71	(+14)
・ベオーバ	73	⇒	86	(+13)
・ラスビック	9	⇒	18	(+9)
・ペンタサ	128	⇒	140	(+12)
・キプレス	83	⇒	84	(+1)
・ムコダイン	33	⇒	35	(+2)
・ナゾネックス	28	⇒	24	(-4)
・ウルトス	23	⇒	13	(-10)

●新医薬品 (海外) **834百万円** (n/a)

・ラスクフロキサシンの導出 (中国企業) による一時金収入

●後発医薬品 **23,361百万円** (n/a)

・AGであるモンテルカスト錠「KM」等の売上が増加

# 損益計算書の概要：杏林製薬－②

(単位：百万円)	21年3月期		22年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	対前期 (%)	対前期 (額)
<b>売上高</b>	89,674	100.0%	<b>92,010</b>	100.0%	n/a	n/a
<b>売上原価</b>	44,922	50.1%	<b>48,736</b>	53.0%	n/a	n/a
<b>売上総利益</b>	44,751	49.9%	<b>43,273</b>	47.0%	n/a	n/a
販売費及び一般管理費 (うち研究開発費)	41,190 (8,719)	45.9% (9.7%)	<b>40,413</b> <b>(7,695)</b>	43.9% (8.4%)	n/a (-11.7%)	n/a (-1,023)
<b>営業利益</b>	3,561	4.0%	<b>2,859</b>	3.1%	-19.7%	-702
営業外収益	1,077	1.2%	<b>978</b>	1.1%	-9.2%	-98
営業外費用	92	0.1%	<b>56</b>	0.1%	-39.3%	-36
<b>経常利益</b>	4,546	5.1%	<b>3,781</b>	4.1%	-16.8%	-764
特別利益	1,929	2.2%	<b>0</b>	0.0%	-100.0%	-1,929
特別損失	9	0.0%	<b>344</b>	0.4%	+3,538.4%	+335
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	6,466	7.2%	<b>3,437</b>	3.7%	-46.9%	-3,029
法人税・住民税 及び事業税	1,206	1.3%	<b>1,192</b>	1.3%	-1.1%	-13
法人税等調整額	445	0.5%	<b>-376</b>	-0.4%	-	-821
<b>親会社株主に帰属 する当期純利益</b>	4,814	5.4%	<b>2,620</b>	2.8%	-45.6%	-2,194

## <当期のポイント>

(対前期)

◆ **売上原価率：53.0%** ( n/a )

- ・ 薬価改定の影響
- ・ 後発医薬品の売上増加

◆ **研究開発費率：8.4%** ( n/a )

- ・ 87億円→77億円
- 前年度、AKP-009導入に関わる契約一時金を計上

◆ **販管費率(研究開発費除く)：35.6%**  
( n/a )

- ・ 327億円 (前期：325億円)
- 特許等使用料の増加：リフミア錠45mg導入に関わる契約一時金等
- 販売費及び人件費の減少

■ **営業利益** 2,859百万円 ( -702百万円)

■ **当期純利益** 2,620百万円 ( -2,194百万円)



# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位：百万円)	21年3月期末		22年3月期末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	119,598	76.4%	<b>121,796</b>	76.1%	+2,198
現金及び預金	16,983		<b>17,535</b>		
売掛金	36,182		<b>36,690</b>		
有価証券	3,399	—	<b>500</b>	—	—
棚卸資産	29,609		<b>32,366</b>		
その他	33,422		<b>34,704</b>		
<b>固定資産</b>	37,029	23.6%	<b>38,183</b>	23.9%	+1,153
有形固定資産	7,213		<b>7,029</b>		
無形固定資産	3,080	—	<b>2,534</b>	—	—
投資その他	26,734		<b>28,620</b>		
<b>資産合計</b>	156,628	100.0%	<b>159,980</b>	100.0%	+3,352
<b>流動負債</b>	23,789	15.2%	<b>28,543</b>	17.8%	+4,753
買掛金	6,597		<b>11,746</b>		
その他流動負債	17,192	—	<b>16,796</b>	—	—
<b>固定負債</b>	12,417	7.9%	<b>12,204</b>	7.6%	-213
<b>負債合計</b>	36,207	23.1%	<b>40,747</b>	25.5%	+4,540
<b>株主資本</b>	113,848	72.7%	<b>113,052</b>	70.7%	-796
<b>評価・換算差額等</b>	6,572	4.2%	<b>6,179</b>	3.9%	-392
<b>純資産合計</b>	120,420	76.9%	<b>119,232</b>	74.5%	-1,188
<b>負債及び純資産合計</b>	156,628	100.0%	<b>159,980</b>	100.0%	+3,352

## <当期のポイント>

(対前期末)

### ■ 流動資産：2,198百万円増

- ・ 現金及び預金の増加 ( +552百万円)
- ・ 売掛金の増加 ( +507百万円)
- ・ 有価証券の減少 ( -2,899百万円)
- ・ 棚卸資産の増加 ( +2,756百万円)
- ・ その他の増加 ( +1,281百万円)

### ■ 固定資産：1,153百万円増

- ・ 有形固定資産の減少 ( -184百万円)
- ・ 無形固定資産の減少 ( -546百万円)
- ・ 投資その他の増加 ( +1,885百万円)

### ■ 流動負債：4,753百万円増

- ・ 買掛金の増加 ( +5,149百万円)
- ・ その他の減少 ( -395百万円)

### ■ 固定負債：213百万円増

# 主な業績項目の推移：杏林製薬

(単位：百万円)	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期 (予想)
売上高	97,459	99,736	96,336	89,674	<b>92,010</b>	<b>95,900</b>
(海外売上)	(3,115)	(613)	(1,260)	(793)	<b>(834)</b>	<b>(400)</b>
売上原価	42,885	50,443	47,339	44,922	<b>48,736</b>	—
(売上原価率)	(44.0%)	(50.6%)	(49.1%)	(50.1%)	<b>(53.0%)</b>	—
販売費及び一般管理費	48,645	43,905	44,675	41,190	<b>40,413</b>	—
(販管費率)	(49.9%)	(44.0%)	(46.4%)	(45.9%)	<b>(43.9%)</b>	—
うち研究開発費	13,158	9,569	10,038	8,719	<b>7,695</b>	<b>9,600</b>
(研究開発費率)	(13.5%)	(9.6%)	(10.4%)	(9.7%)	<b>(8.4%)</b>	<b>(10.0%)</b>
営業利益	5,928	5,387	4,321	3,561	<b>2,859</b>	<b>4,400</b>
(営業利益率)	(6.1%)	(5.4%)	(4.5%)	(4.0%)	<b>(3.1%)</b>	<b>(4.6%)</b>
経常利益	6,608	6,121	5,340	4,546	<b>3,781</b>	<b>5,200</b>
(経常利益率)	(6.8%)	(6.1%)	(5.5%)	(5.1%)	<b>(4.1%)</b>	<b>(5.4%)</b>
当期純利益	4,637	4,389	3,996	4,814	<b>2,620</b>	<b>4,000</b>
(当期純利益率)	(4.8%)	(4.4%)	(4.1%)	(5.4%)	<b>(2.8%)</b>	<b>(4.2%)</b>
一株当たり利益	62.45円	59.10円	53.82円	64.82円	<b>35.28円</b>	—
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	<b>4,317</b>	—
総資産	151,622	161,986	160,570	156,628	<b>159,980</b>	—
株主資本	118,595	112,464	112,525	113,848	<b>113,052</b>	—
純資産	128,614	121,320	119,405	120,420	<b>119,232</b>	—
一株当たり純資産	1,731.76円	1,633.55円	1,607.77円	1,621.43円	<b>1,605.43円</b>	—
自己資本利益率	3.7%	3.5%	3.3%	4.0%	<b>2.2%</b>	—
自己資本比率	84.8%	74.9%	74.4%	76.9%	<b>74.5%</b>	—
人員	1,673人	1,567人	1,502人	1,471人	<b>1,441人</b>	—
設備投資	815	599	441	732	<b>627</b>	<b>400</b>
減価償却費	1,942	1,183	1,337	1,391	<b>1,461</b>	<b>1,600</b>

当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年3月期連結業績は、当該「収益認識に関する会計基準」等を適用した数値となっております。